

森棉油含思的

令和2年6月30日 発 行

第 129 号



第26回 通常総代会

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141 (代) FAX 0184-24-4143

HP http://www.honmori.com/ メール honmori@trad.ocn.ne.jp

第26回 本荘由利森林組合通常総代会 開催

令和2年5月28日(木)午後1時30分よりホテルアイリスを会場に、第26回通常総代会を開催しました。今年は新型コロナウイルスによる感染拡大防止のため、書面による議決をお願いし、当日は出席者数を最小限にしての開催となりました。

小松組合長の挨拶に続いて、本荘地区総代の畠山洋三氏が議長に選任され議事が進行されました。

《総代会出席者》

本人出席……17人 書面議決……242人

合 計……259人 総代現在数……299人 出席率……87%



◎議案審議

議案第1号から議案第10 号及び付帯決議までの審議 が行われ、原案どおり承認 可決されました。



【第26回 通常総代会議案】

第1号 令和元年度業務報告書の承認について

第2号 令和2年度事業計画の設定について

第3号 令和2年度賦課金の徴収について

第4号 令和2年度役員報酬について

第5号 役員退任慰労金について

第6号 借入金の最高限度について

第7号 債務保証の最高限度について

第8号 余裕金の預入先について

第9号 定款附属書森林組合役員選挙規程一部改正について 第10号 定款附属書森林組合総代選挙規程一部改正について

A

付帯決議



畠山洋三議長



本荘地区 大庭氏

すが、保育関係の事業が検討・審議すが、保育関係の事業が検討・審議があるためお伝えできませんが、結があるためお伝えできませんが、結があるためお伝えできませんが、結めます。回答については、守秘義の回答を取りまとめて、市へ提出し をがおのし対対令 にいかというアンケートしてどう思っているか、 元年度は出 は岩岩 査を行 城 地 区 ま 0 し山 1 形ど た林所 式の 秘出のよ山有 しもう 積 てか結義 でい等果務てのに

等もあれば教えてほしい。ているのか知りたい。また、調査の計画けているようだが、どのような調査を行っ市から森林所有者の意向調査の委託を受

Q

·質疑応答:

新役員紹介



鈴木 充(鳥海) 再任(7期目)



佐々木 法夫(由利) 再任(3期目)





小松 佳和(東由利) 再任(9期目)



がそれぞれ決定しまし 今後3年間、 よろしくお願いします。 組織運営にあたります



佐藤 勉(仁賀保) 新任(1期目)



小笠原 俊彦(大内) 新任(1期目)



浅田 照信(東由利) 再任(2期目)





熊谷 典夫(由利) 再任(7期目)



三浦 功(本荘) 再任(3期目)



小番 勲(矢島) 再任(8期目)



小松 幸夫(大内) 再任(3期目)



表理事組合長、

副組合長理事、

令和 2

年3 月

31

日

事会に於いて代

工藤 喜作(岩城) 再任(10期目)



眞坂 平通(大内) 新任(1期目)



佐藤 勝榮(矢島) 再任(3期目)



伊藤 修二(岩城) 再任(6期目)



鈴木 敏規(仁賀保) 再任(4期目)



佐藤 健一(本荘) 再任(9期目)



初瀨 東一(本荘) 再任(4期目)



佐藤 衛(鳥海) 再任(2期目)



板垣 正昭(本荘) 再任(2期目)



齋藤 惣一郎(仁賀保) 再任(8期目)





村上 佐左衛門(鳥海) 再任(7期目)



佐藤 憲一(矢島) 再任(2期目)





加藤 進(仁賀保) 再任(4期目)



令和2年度 造林補助事業について

今年度も組合員の皆様のご理解を得ながら森林整備事業を推進して参りますのでご協力をお願いします。 注)下記のとおり採択要件がありますので作業前に必ず各支所にご相談ください。

1. 補助金を受けるための採択要件

下記の補助金を受けるためには、「森林経営計画の認定」が必要となります。

※1施行地 0.10ha以上の実施が必要です。

所有者自ら作業を行い補助金を受ける場合

補助金申請をする際に次の写真データを提出する必要があります。

写真データの無いものは申請ができなくなりますので、作業前に必ず各支所へご連絡をお願いします。 (連絡が無く作業を進められた場合は補助金を受けることができません。)

①着手前状況写真 ②作業状況写真 ③完成後の写真 ・・・ 面積に応じた枚数が必要。

※写真データには位置情報が必要となりGPS機能のあるデジタルカメラで撮影する必要があります。

2. 令和2年度 造林補助事業種別補助金額(森林環境保全直接支援事業)

//-	業種	→		補助金額	備考			
17F	美 悝	対象林齢	採択要件・留意事項 等	組合作業	所有者作業	備 考 		
	スギ		・区分 (スギ・マツ) ①植栽本数 1,500~1,799本/ha	589,000 ~903,000	461,000 ~708,000			
植	マッ		(スギ・マツ) ②植栽本数 1,800~2,099本/ha (スギ・マツ・広葉樹) ③植栽本数 2,100~2,399本/ha (スギ・マツ・広葉樹) ④植栽本数 2,400~2,699本/ha (スギ・マツ) ⑤植栽本数 2,700~2,999本/ha (スギ・マツ) ⑥植栽本数 3,000本/ha以上・枯損率 20%未満・再造林、拡大造林の区分無し・広葉樹 A:苗高 50cm以上	485,000 ~696,000	380,000 ~545,000	※普通苗		
	広葉樹A	_		1,225,000 ~1,360,000	960,000 ~1,066,000			
栽	広葉樹B			1,829,000 ~2,051,000	1,433,000 ~1,607,000			
	広葉樹C		・広葉樹 B : 苗高 100cm以上 ・広葉樹 C : 苗高 150cm以上	2,799,000 ~3,159,000	2,193,000 ~2,476,000			
	下刈	7年生以下	・区分 下刈A:連年型 下刈B:隔年型	162,000 ~172,000	127,000 ~134,000			
1	雪起こし	2~15年生	・雪圧倒伏率30%(6年以上は50%)以上で採択 ・区域面積×被害率=実施面積で申請	135,000	106,000			
枝打ち		11~30年生	・仕上げ幅 ・1.0~2.0m未満 ・2.0m以上で区分(地上高6.0m以下) ・実施本数 500本~2,000本/ha	40,000 ~264,000	31,000 ~207,000			
除·	伐(刈払)	11〜25年生 天然林は40年生まで	・刈払率 100%以上 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと	116,000	91,000			
保育間伐		35年生以下又は伐採対象木の 平均胸高直径18cm未満	・伐採本数率 20%以上 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと	48,000 ~116,000	38,000 ~91,000			
間伐		11~100年生	・伐採本数率 20%以上 ・ 伐採材積率 35%以下 ・標準単価 10㎡~80㎡/haで10㎡刻み	119,000 ~395,000	94,000 ~309,000			
更新伐		11~90年生	・伐採本数率 56%以上 ・2年経過後、更新完了の確認必要	69,000 ~736,000	54,000 ~576,000			
間伐·更新伐 共 通			・5ha以上の集約化かつ10㎡/ha以上の 搬出必要 ・過去5年以内に補助金を受領していないこと ・材積が確認できる納品伝票等必要 ・間伐と更新伐あわせて5ha以上で申請可					
森	林作業道	上記の作業に係わる 作業道の開設	・土構造を基本とし、繰り返しの使用に 耐えるもの ・幅員(2.0/2.5/3.0)m×地山勾配で区分 ・最急縦断勾配 30% (11.9°)/100m以内 ※路網密度150m/ha以下	673 ~1,913	528 ∼1,500	m当		



◇今号からは、「森づくりミニ情報」として、造林などに関する技術的なミニ情報と、日頃の林業相談の中から、照会の多い事項などを「林業相談―ロメモ」としてご紹介します。

森づくりミニ情報

1818181818181818

~ 本県ではなぜ 'さし木苗' はダメか ~

- ・造林に使う杉苗は、本州などでは、種子をまいて育てた「実生苗」が普通ですが、温暖 多雨な九州などでは、「さし木苗」が使われるのが一般的です。
- ・「さし木苗」は、母樹から穂木をとって増やすため、母樹の遺伝形質をそのまま受け継ぐことから、良くそろって成長するなどの利点があり、九州地方などでは、成長や 形質に優れた品種が多く開発されています。
- ・しかしながら、本県のような積雪寒冷地帯では、スギの さし木苗を造林しても、幼齢期のうちは、根の発達が悪 く初期成長がかなり劣ることや、幼齢期から壮齢期にか けて、冠雪害による幹折れなどの被害が多くなることな どが要因で、さし木苗は普及していません。



林業相談一口メモ



- ・毎年、きのこの種駒の植菌時期になると、「きのこの出が悪い」とか、「全く発生しないがなぜか」といった照会が多くあります。
 - 現地を見てみると、種駒の周囲が黒ずみ、ホダ木の木口も白っぽくなく、菌糸がまわっていないことが確認されます。
 - これらの方々に共通することは、植菌後すぐに、林に展開していることです。

○菌糸の行きわたった良いホダ木をつくるポイントは、 **(仮伏せ)が大切**

・仮伏せとは、植菌後、軒下などにホダ木を積み重ね、コモムシロなどで覆い、菌糸が 速やかにまわる(活着)ように保温してやる作業のことです。



- ・由利管内では、日平均気温が15℃(例えば最低 10℃、最高20℃)になる頃(海岸部では5月 中旬、内陸部は5月下旬)まで実施します。
- ・この作業を実施して、植菌した種駒の周囲や木口 が菌糸で白くなるのを確認してから、林内などの ホダ場に展開(本伏せ)するようにしましょう。

术都市認情報(令和2年)

単位:円、上段(石当り価格) 下段㎡当り価格

			4月3日		5月7日		6月2日				
樹 種	材 長	径 級	本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		本荘由利木材流通センター			
	m	cm	高 値	安値	平均価格	高 値	安値	平均価格	高 値	安値	平均価格
ス	3.65	14下							(1, 800) 6, 480	(1, 800) 6, 480	(1, 800) 6, 480
		16~22	(2, 500) 9, 000	(2, 500) 9, 000	(2, 500) 9, 000				(2, 229) 8, 027	(2, 222) 8, 001	(2, 224) 8, 009
ギ		24~34	(3, 398) 12, 235	(3, 250) 11, 702	(3, 286) 11, 830				(3, 027) 10, 900	(2, 772) 9, 980	(2, 851) 10, 267
出材量·販売量·販売率 1,267㎡(4,561石)·483㎡(1,738石)·38%				1,072㎡(3,859石)・158㎡(568石)・14%		915㎡(3,294石):554㎡(1,994石):60%					

4月:コロナウイルス感染拡大による影響で各社とも完全に模様眺めの当用買いに終始。久々に低落札率に終わった。 この先もしばらくは厳しい状況が続くものと思われる。

5月:コロナウイルス感染拡大による製品の流通面での先行きが見通せない他、量産工場の原木在庫が一杯となっていること で劣材が2口手当されただけでそれ以外は全く札が入らず。

6月:16~22cm、曲がり材、小径木は完売したが、それ以外は当用買い。単価も弱含みとなっている。地元勢の参加 がなく、製品の流通が地場では厳しいことがうかがえる。

令和2年度(新)探(用)職)

4月1日より新しいメンバーが加わりましたのでご紹介します。



木村 莉瑚 造林課

地域の森林をより豊かに するために、精一杯努め ます。よろしくお願いし ます。



渓 遠藤 ●加工課●

これからお世話になる皆 様に信頼して頂けるよう に精一杯頑張ります。



さいとう たくみ ●本所造林班●

林業大学校で学んだこと を活かしつつ、さらに高 みを目指して頑張りま す。





退 **技能職員** 林産販売課 今長 後い 職 益々のご活躍とご問ご苦労様でした , 者 所 たします。 の 鈴 土 お 田 木 知 健 元 6 勝 /津子

せ

加臨 林産販売 林産販 造技能 造 造 工技能 林職 林 林 ※売課 売課 職員】 課 課 課 課 (木材流通 和 石 藤 小 岡 相 木 原 松 良 本 垣 田 真貴之 堅 光 卓 光 嘉 則 樹 巧 哉

異 動 の お 知 6

せ

令和2年

· 4 月

71日付

造林課長補佐

兼矢島

喜